

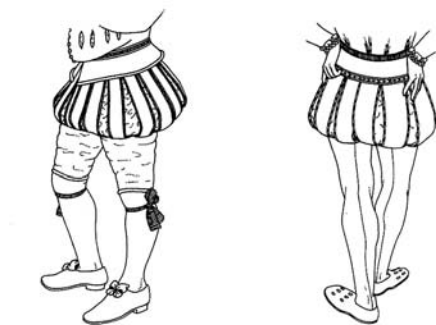
制作概要

16世紀ルネッサンスに現れた最も風変わりなデザインが、「スラッシング」ファッションだった。表衣にハサミで切り込みを入れるか、焼いた鉄棒で穴を多数あけ、その切れ目から柔らかな下衣の布がのぞくデザイン効果を楽しんだ。初めは肩口や袖付け、肘、膝など関節部分に切り込みを入れることで、動きの自由さという実用性もあったが、ファッションとなると熱が入り、次第と手が込んで複雑となり過剰デザインになって行く。これを好んだのがドイツ人傭兵達で、やがてドイツ全土にニューファッションとして広がった。

作品は2009年9月20日NHK大阪ホール第77回NDK日本デザイン文化協会ファッションショー「On Dramatic Departure～新たな旅立ち～」の第4部第3景フォーマルウェア部門「Dancing with you～渦巻く星のフロア～」に出品したイブニングドレスである。

黒を基調にした夜会服のシリーズとして制作した。コンセプトは青く輝く「宇宙」をイメージしてデザインした。宇宙に有人衛星が飛ぶ時代ではあるが、広大な宇宙の神秘はまだ未知の世界として夢を抱かせてくれる。中世男子服のホーズ（パンツ）に見られたスラッシングをデザインソースにした。きらきら光るスラッシングの中から真っ青な宇宙が広がっているイメージをイブニングドレスに表現した。黒と青のコントラストはオーガンジーのスカートではメランジ効果を生んでいる。黒の研究課題はまだ奥深く、新たな創作意欲を与えてくれている。

橘 喬子
「宇宙」
イブニングドレス
NHK大阪ホール



デザインソースの資料

「ホーズ」 J・アンダーソン・ブラック著
「ファッションの歴史」より

使用素材

サテン、スパークオーガンジー、スパンチュール、苳地

アクセサリ

イヤリング

パターンメイキング

シーチングでビスチェドレスをモデルサイズに合わせてドレーピングでパターンを制作、仮縫いした。胸の切り替え線に合わせ、スラッシングに見せる2cmのテープ状の布をスカートの切り替えまでブラウジングさせ、その下にトレーンを長く引いたスカートをフレアー展開して、ドレープが流れるようそのバランスを工夫した。

縫製のポイント

- 1) 胸のデコルテはタフタにスパークオーガンジーを重ね、ダーツで胸の膨らみをつけた。
- 2) 胸の切り替えからスパンチュールのテープを前後身頃にバランスよく配置し、下布のブルーのサテンの身頃とスカートに挟み、ブラウジングさせた。
- 3) 左脇サテン地にコンシールファスナー明きをつけた。
- 4) スカートのヒップラインから下にマーメイドラインにフレアーを入れ、スパークオーガンジーを3枚重ね、前中央は短いフレアーが美しくドレープするよう工夫した。
- 5) 後スカートは約1.5mトレーンを引き、美しく流れる星群を表現した。
- 6) 首輪は5cmのリング状にタフタとオーガンジーを2枚重ねにし、上下にスパンコールをつけ、ストラップを挟んで胸のデコルテと結んだ。

仮縫い点検

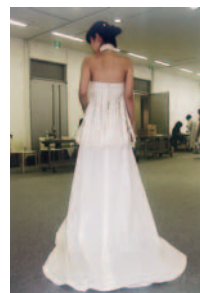
- 1) バストの膨らみに合わせてダーツを0.5cmずつ摘んだ。
- 2) スカートの3枚重ね、裾のフリルが大きくドレープが行くように修正した。



トップサイド



フロント全身



バック全身

ディテール



フロントスラッシュ部分



バック部分



フロントスカート

舞台本番風景





橘 喬子

イブニングドレス「宇宙」

2009年9月20日

第77回NDKファッションショー

NHK大坂ホール